

【放課後等デイサービス】支援プログラム

事業所名	DRK青山スタジオ	作成日	2025/2/7
営業時間	9:30-18:30	送迎実施の有無	無
法人(事業所)理念	子ども達が日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適應することができるよう、子ども達の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。更に地域との結びつきを重視しながら利用者の所在する区市町村や他の事業所とも密接な連携に努めます。児童福祉法及び港区指定障害児通所支援の事業所等の人員、設備及び運営に関する基準などを定める条例に定める内容のほかその他関係法令等を遵守し、事業を実施するものとします。		
支援方針	発達の気になるお子様が生き生きと活動できる場を提供し、自己肯定感を高め「生きる力」を身に付けられる場となることを目指します。お子様を育てる保護者同士が、正しい知識や情報を得て、安心して子育てができる場となれるよう、又社会全体でお子様や子育てする保護者様を支え、共に子どもたちを育てることが当たり前の社会の実現に向けて我々DRK青山スタジオは港区から発信していきます。		

支援内容	
本人支援	<p>健康・生活</p> <p>スケジュール管理...見直しを立てて行動して管理する意識を伸ばします。 トイレ...必要な児童に限り、決められた時間にトイレに促すように行います。 衣類の着脱...適切な温度や状況等での衣類や服装を意識させたり、温度調節ができるように注意を促します。 公共交通機関の利用...担当の療育士と共に交通機関について意識し、必要な場合は利用の仕方を促します。 自転車の練習...必要な児童に限り、日曜日のフィールド療育に限り、自転車の練習を実施しております。 身支度...療育の始まる前、終わる前に必要なものとそうでないものが区別できる。準備の仕方を理解できるよう促します。 買い物...必要な児童に限り、私生活に必要な買い物等を出発できるように行います。 片付け...次の課題を行う前と終わりのあいさつ後に使ったものを元の位置に戻すよう促して片付けの意識をつけていきます。 整理整頓...決められた場所に片付けたり、身の回りの物を整理する意識を注意を促して行います。 水分摂取...課題の間の水分補給を促して運動後の水分摂取に意識を向けさせていきます。</p>
	<p>運動・感覚</p> <p>有酸素運動...心拍数を高めて次の行動を落ち着いてできるように促します。 微細運動...手先の使い方や巧緻性を高めます(絵を書く、着を使う、洗濯バサミをつける等) 体幹強化...段差や平均台、バランスボールを利用して体幹強化を行います。 ポディメージ...様々な動きやポーズを課題の中に入れていき、体の使い方を意識できるよう促してしていきます。 体力向上...様々な運動を利用者の発達の段階に合わせて促し体力向上を図ります。 協調運動...同時に多くのタスクを促し、情報処理をしながら複雑な課題にチャレンジしてしていきます。 粗大運動...ダンスやジャンプ等の体を大きく使う課題を促します。 視覚運動...ダンスやトレーニングを用いて他者の動きや必要な動き、ポーズを意識して真似できるように促していきます。 視覚運動(ビジュアルトレーニング)...ボールをキャッチまたは動くものを追視する課題から促します。 ごっこ遊び...ルールが一貫した運動を楽しく課題を行って、世界観を共有したり、想像力を伸ばしながら運動します。 ストレッチ...運動マットを引き、療育士と無理のない範囲で身体を伸ばして行きます。 ボールを使った運動(コントロール)...空間に対してイメージをもって距離感や力のコントロールが理解できるように促します。 学校体育...学校に必要な課題をスモールステップで段階を踏みながら成功できるように促して行きます。</p>
	<p>認知・行動</p> <p>こだわりの軽減...様々な課題を促していくことで興味のある事を増やし、こだわりの時間を減らして行きます。 ルール理解...簡単なルールから徐々にルール理解しアウトプット出来るように促します。さらに複雑なルール理解にも取り組んでいきます。 ワーキングメモリ...同時にいくつかのことを記憶したり、振り返りの時間を作ることで覚えたことをアウトプットする機会を多く作っていきます。 興味の幅を広げる...療育士が本児の興味に添いながら促していくことで、興味や関心の幅を広げられるように促して行きます。 空間認知...鬼ごっこやドッチボールのような同時に空間に対してイメージする課題を促し空間認知能力を伸ばして行きます。 集団行動...3~5名の小集団から療育士の指示に耳を傾けられるように促して行き、集団への苦学意識を失くします。 集団での一斉指示...一斉指示の際に指示を理解した状態で行動できるように促していき、また理解した指示をアウトプット出来るように促します。 他者意識...楽しかった経験、挑戦したい課題を行いながら他者と共有する楽しさを感じていき、他者に対する意識をつけていきます。 集中力の向上...簡単な課題から最初から最後まで課題通りに行える時間をのばしていき、集中力の向上を図ります。 状況にあった行動...自身が今何をすべきか、周りの視野を広げて状況理解と判断ができるよう関わって行きます。 切り替え...様々な経験をして、受け入れられる状況を増やして行けるように促します。療育のスケジュールを立て見直しを立てることで、課題ごとの切り替えがスムーズに出来るようになります。</p>
	<p>言語コミュニケーション</p> <p>双方向のコミュニケーション...療育士に対して質問したり、他者の意見や質問を最後まで聞き、内容に合った返答が出来るように促します。またお子様同士で意見の違いを話し合えるように療育士が介入しながら小集団療育にて練習して行きます。 コミュニケーションの幅を広げる...一つの課題に対しての広げ方を療育士や他児との関わりを通して幅を広げていきます。 他者のアウトプット...他者の行動を「見てみて、すごい！」等と感情を強出しながら他者に関心を向けさせて自身からアウトプット出来るような機会を作っていきます。 発話...療育士が擬音語や単語を繰り返し発し、意識して覚えていくことで発話に繋がるような機会を作っていきます。 言葉の理解...単語または文章をジェスチャーや身振り手振りも加えながら繰り返し伝えることで、言葉に対しての意識をさせていきます。 気持ちや感情の言語化...療育士が表情や感情を強く出し、繰り返し伝えていくことで自信の気持ちや感情に意識を持ち、それを言葉にして他者に伝えられるように促して行きます。 挨拶...療育の始まりと終わりで「よろしくお願ひします。」「ありがとうございました。」「を伝える時間を設けます。</p>
	<p>人間関係 社会性</p> <p>ソーシャルスキルトレーニング(SST)...他者との関わりで相手に寄り添ったコミュニケーションをとることを意識させていきます。他者の気持ちを考え、それをアウトプットする機会を作っていきます。 クールダウン...休憩などの時間を設けて気持ちを落ち着かせて行動できるように促します。 ルール遊び...指示に対して遵守して達成することの喜びを療育の中で理解していけるように促して行きます。自己肯定感を上げることで、ルールを守って遊ぶことの大切さを理解できるように促して行きます。 感情のコントロール...失敗に対して次またチャレンジできるような気持ちを課題の中で育んでいきます。 自己肯定感の向上...成功体験を多く作って、少しずつ自己肯定感や自信に繋がるような環境を作ります。 勝ち負けへのこだわり...成功体験を多く作り、勝ち負けがある課題へ上手に向き合えるような環境を作っていきます。 順番の理解...トレーニングや集団の際に他者の番を応援したり待たせているよう意識を促して行きます。 人見知り・場所見知りの軽減...自身の強みや得意なこと、分野を意識させて他者との共感を築きあげるように促します。 多面的な視点...一つの課題に対して様々な遊び方が見えていくことを療育士が見せていくことで多面的な視点を作ります。 仲間づくり...他者の気持ちや遊びに寄り添って行けるように意識を促して行きます。他者と協力し一つの事を達成する楽しさを共有できる場を作っていきます。 母子分離...興味の幅を広げながら楽しく遊べる時間を作り、母子分離ができるように促して行きます。</p>
<p>家族支援</p> <p>個別支援計画の更新を6か月に1回毎に行っていく、療育内容や課題の見直しを行っていきます。 保護者が希望の場合、学校・特別支援学校と連携を取り園での様子を見に行ったり、情報共有をしたり等も関係機関支援加算(Ⅱ)として支援を行っております。また子育てに関する相談援助等も実際の療育風景を確認しながら家族支援加算のⅠ(3)として実施をさせていただいております。</p>	
<p>移行支援</p> <p>年度末までにアンケート調査を行ったり、移行相談を利用時に行っております。就学や就労に関しての相談も管理者・児童発達支援管理責任者が担当しております。</p>	
<p>地域支援・地域連携</p> <p>他事業所や学校、特別支援学校、相談支援事業所とも連携を図り、港区が開催される連絡会等にも参加しております。 定期的な個別支援計画の更新に伴い、利用者の他スタジオや相談支援事業所に支援中の個別支援計画書を交付したり、お電話や会議等でモニタリングを行うなどの情報共有を行っています。</p>	
<p>主な行事等</p> <p>第5日曜日に当事業所でのイベントを、主に施設を利用している児童と保護者の方々に向け企画させていただいております。企画毎に他事業や医療機関とも連携し外部での開催も行っています。</p>	
<p>職員の質の向上</p> <p>支援計画の書き方や療育内容の進め方を学んでいく座学研修や、実際に療育現場を想定して行うロールプレイ研修を定期的に実施しています。さらに虐待防止研修、身体拘束研修、安全計画、業務継続計画、避難訓練、衛生管理研修、ハラスメント対策研修、スタッフとの個人面談を設けて質の向上を図ります。</p>	